

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月10日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人湘北福祉会やまのべ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)
施設設置条例の名称	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター条例
施設の設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援を行い、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行い、もって障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条)
施設概要	施設延床面積 : 312.78㎡ 主な施設: 1階 フリースペース、作業スペース、相談室、静養室、台所、ダイニング、浴室、脱衣室、事務室等 2階 管理スペース(和室)
施設所管課の名称	健康福祉局 福祉部 障害政策課

2 管理実績							
項目(単位)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数合計(人)	4,069	4,391	3,671	3,387	3,170	3,537	/
利用料金合計(円)	866,387	1,078,012	796,455	773,470	826,183	856,334	/
収入総額(円)	24,920,769	24,678,639	27,372,259	29,653,912	28,374,931	30,814,059	/
支出総額(円)	24,920,769	24,678,639	27,372,259	29,653,912	28,374,931	30,814,059	/

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	開所日1日当たりの平均利用者数 単位 : 人
指標式と指標の説明	年間延利用者数 ÷ 開所日数 利用率の向上に向けた指標

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(単位)	25	30	15.0	15.5	16.0	16.5	17.0
実績値(単位)	13.25	14.30	11.96	10.96	10.29	11.52	/
達成度(%)	53.0%	47.7%	79.7%	70.7%	64.3%	69.8%	/

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	D	・成果指標は達成できなかったが、地域交流事業を強化することにより通所者数が約12%増加した。
事業・業務の履行状況	A	・事業計画に基づき、計画的に事業を実施している。 ・近隣の障害福祉サービス事業所(就労継続支援B型)と連携することで、利用者の就労支援が強化された。
利用者満足度の向上度	C	満足度調査における満足率は、前年度74.1%であったのに対し、当該年度は60.6%で13.5%の減となった。 ・施設内の清潔さやフリースペースの使いやすさ、職員の対応という項目で高い満足度が見られている。一方で交通の便について満足していないという回答が目立っている。 ・利用者の意見や要望を踏まえ、改善策を検討している。
財務状況の適正性	A	・他部門からの繰入がなく、法人全体でも小規模ながら経営は安定している。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「」または「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「」または「」がつき、「」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「」である。
- C: 「」と「」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「」と「」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っており(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画通りに事業を実施している。 ・利用者の意見を反映させプログラムの見直しを図ることで利用者の増加に努めている。また、地域交流事業に力を入れ、積極的に地域イベントに参加することで、施設の周知や利用者の居場所作り、障害に対する理解・啓発を進めることができている。今後は地域とのつながりを活用し、自治会との連携などの事業展開を検討していただきたい。 ・通所が困難な利用者に対しては訪問や電話による相談体制の強化を期待する。
------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	平成30年7月10日
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は達成できなかったが、事業内容を見直し日帰り旅行やパソコン教室といった魅力的なプログラムを取り入れることで利用者の増加に努めている。 ・地域イベントへの参加によって地域において一定の役割を担っており、障害に対する理解・促進に貢献している。 ・今後も地域における障害者支援を基盤としながら、地域の様々な課題に対応できるような事業展開を期待したい。